

令和3年度 第1回 立川市スポーツ推進審議会 会議録

(基本情報)

会議名称	令和3年度 第1回 立川市スポーツ推進審議会
開催日時	令和3年7月20日(火曜日) 午後7時00分～午後7時50分
開催場所	立川市泉市民体育館 研修室
次第	1 辞令伝達 2 挨拶 3 委員の紹介 4 会長、副会長の選出について 5 立川市スポーツ推進審議会委員について 6 立川市第2次スポーツ推進計画の概要について 7 「体育施設のあり方」の検討状況について 8 その他
資料	資料1 立川市スポーツ推進審議会委員名簿 資料2 立川市スポーツ推進審議会条例 資料3 立川市スポーツ推進審議会施行規則 資料4 スポーツ推進審議会委員について 資料5 立川市第2次スポーツ推進計画(概要版) 資料6 立川市第2次スポーツ推進計画 資料7 「体育施設のあり方」の検討状況について 資料8 立川市体育施設の現状と課題について(中間報告) 参考資料1 スポーツ基本法(抜粋) 参考資料2 立川市第4次長期総合計画後期基本計画(抜粋) 参考資料3 東京都スポーツ推進総合計画(抜粋) 参考資料4 令和3年度市政に関するアンケート(速報値)
出席者	[委員] 坂下 香澄、水越 伸朗、秋山エリカ、永島 康雄、原 宏樹、森川 良行、 西村 修二、筒井 夢人、亀島 尚靖 [事務局] 矢ノ口 美穂(産業文化スポーツ部長)、中村 達也(スポーツ振興課長)、 加藤 英樹(管理係長)、木村 誠(スポーツ振興係長)、 今尾 裕紀子(スポーツ振興係)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
担当	産業文化スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興係 電話 042-529-8515

会議の内容(要旨)

1 辞令伝達

2 挨拶

(スポーツ振興課長) お集まりいただき感謝したい。

まず配付資料の確認をしたい。

(配付資料確認)

本日の進行は、会長が決まるまでスポーツ振興課長が務めさせていただく。本日の会議時間は、東京都に緊急事態宣言が発令されていることから、長時間の会議を避けるため、1時間とさせていただきたい。

本来、各委員に辞令伝達をするところであるが、机上配布に代えさせていただくことをご了承いただきたい。

本会議は原則公開会議であり、議事録は発言者の氏名を伏せてホームページに公開する。

会長、副会長は互選で選出する。会長の職は、委員からいただいたご意見を集約するとともに、議長として会の進行をお願いする。副会長は会長を補佐、会長不在の際は会長を代理する役割がある。

本審議会は、現在定員の過半数の出席があるので、立川市スポーツ推進審議会条例第5条第2項の規定により、成立していることを報告する。

3 委員の紹介

(スポーツ振興課長) 委員の皆様から自己紹介とあいさつをお願いしたい。

(各委員あいさつ)

(事務局あいさつ)

4 会長、副会長の選出について

(スポーツ振興課長) 会長、副会長の選出をしたい。互選での選出とする。選出方法について意見はあるか。

(委員) 推薦ではいかがか。

(スポーツ振興課長) 推薦というご意見をいただいた。推薦でよいか。

(異議なし)

(委員) 東京女子体育大学の秋山委員が、4期目と長くこの審議会に関わっておられ、内容についてもよくご存じなので、秋山委員を会長に推薦したい。

(スポーツ振興課長) 秋山委員を会長に推薦いただいた。これについて意見はあるか。

(意見なし)

(スポーツ振興課長) では、会長は秋山委員に会長をお願いしたい。つづいて副会長についてご意見はあるか。

(委員) 事務局からの提案はあるか。

(スポーツ振興課長) 事務局の案としては、地域の活動にご尽力をいただいている特定非営利法人立川市体育協会副会長の坂下委員をお願いしたいと思うが、いかがか。

(異議なし)

(スポーツ振興課長) では、会長は秋山委員、副会長は坂下委員をお願いしたい。会長、副会長は、席を移動いただき、ご挨拶をいただきたい。

(会長) この審議会は様々な視点をお持ちの方に集まっていいただいている。皆様の貴重なご意見をまとめられるよう努めていきたい。

(副会長) 会長をサポートしていくのでよろしくお願いしたい。

(スポーツ振興課長) では、ここから進行を会長をお願いしたい。

5 立川市スポーツ推進審議会委員について

(会長) 事務局より説明をお願いしたい。

(スポーツ振興課長より資料4について説明)

(会長) 質問等はあるか。

(意見、質問なし)

6 立川市第2次スポーツ推進計画の概要について

(会長) 事務局より説明をお願いしたい。

(スポーツ振興課長より資料5、参考資料2, 3, 4について説明)

今後、当審議会は、この第2次スポーツ推進計画について、随時進捗状況を報告させていただく。
これについて審議をいただきたい。

(会長) 意見はあるか。

東京都はスポーツ実施率70%を目指している。現在の実施率はどの程度か。

(スポーツ振興課長) 手元のデータが古いものになるが、平成30年度に目標を設定した時点で公表していた平成28年時点のデータでは56.3%となっている。(※)

(会長) 立川市のスポーツ実施率について、どのように捉えているか。

(スポーツ振興課長) 現状(令和2年時点のスポーツ実施率)の48.3%という数値は、目標とは乖離していると考えている。

(会長) コロナが影響しているのか。

(スポーツ振興課長) その可能性は否定できない。

(会長) コロナが収束すれば、チャンスがあるということか。

(スポーツ振興課長) そう考えている。

(委員) 参考資料4で、「月に数回程度行っている」人が15.9%いる。ここが週1回以上になるとスポーツ実施率が上がってくると思う。ここの掘り起こしが必要だと思う。

(委員) ジムに行かなくても、屋上まで洗濯を干しに行くなどもいい運動であると思う。(そのような活動を含めないのか。自転車通勤は含まれているようだが。

(スポーツ振興課長) 計画におけるスポーツの定義については、先ほどご説明した通り「余暇時間や仕事時間等を問わず健康を目的とする身体活動」としており、散歩やウォーキングをしている方は、スポーツに該当するとして回答していただいているが、洗濯などの活動をスポーツとして回答はしづらい設問になっていたと思う。

(委員) 参考資料4で示されている調査の市民とは、成人のみか。

(スポーツ振興課長) この調査は18歳以上を対象とし、3,000人を無作為抽出して行っている。目標としている70%は成人の目標値である。

(委員) 子どもから大人まで「だれでも、いつでも」とするのであれば、子どもについてはどう把握するのか。スポーツの定義をしているところだが、競技だけでなく、遊び場で走ったり木に登ったりすることで体幹がきたえられるといったこともあるので、そういう活動も含めた方がよいのではないか。施設の面で、公園緑地課が公園に健康遊具の設置をしている。その状況なども合わせて把握し一緒に取り組んでいった方がよい。

(スポーツ振興課長) 現状の計画における取組目標のスポーツ実施率は「週1回以上スポーツをする成人の割合」と定義されている。一方で、委員のご意見のような子どもも含めた実施率の把握については、今後方法を検討したい。

(委員) 公園の健康遊具については、設置状況だけでなく、どの程度利用されているかも見ていく必要がある。

(委員) 参考資料4にある立川市のスポーツ実施率は、平成28年から30年にかけて週1回以上スポーツを行っている割合は35~38%程度であるが、平成31年、令和2年は45%以上に増えており、10%前後増加している。この急増の要因は何か。

(スポーツ振興課長) 「スポーツ」の定義を拡大している。

(委員) 平成28年度の数値で、東京都は56.3%に対し、立川市は37.9%と低くなっている。この差について分析はされているか。

(会長) スポーツの定義が、東京都と立川市では異なっていた可能性がある。例えば「みる」スポーツや、散歩をするといったことを含めていない数値ではないか。東京都では散歩などの軽運動も含まれていたと思われる。そのようなスポーツの定義が、後半(平成31年以降)立川市でも浸透したのではないか。数字だけではとらえ難い面があると思う。

(産業文化スポーツ部長) 平成28年の調査では、立川市の調査方法が異なっている。(平成30年以前では、)スポーツは「競技」を主眼としており、調査票の例示は、ランニングや競技種目を並べていた。平成31年からは、犬の散歩やウォーキングなどの「軽運動」を例示したことで、(スポーツをしていると)答えやすくなった。スポーツの定義を広げた、というところが大きな要因であると思う。

(委員) 現在は、東京都と立川市のスポーツの基準というのは同じになっているのか。

(スポーツ振興課長) ほぼ同様になっている。

- (会長) 事務局から、委員の皆様のご意見を伺いたい議題として、コロナ禍における健康2次被害、体力低下や、スポーツの意義などについてあげられている。意見はあるか。
- (委員) コロナ禍で家で過ごされている方から、気持ちが鬱々とするとお話を聞いた。また、コーラスとダンスを続けていた方とお話をしたが、コーラスはこの状況下では活動ができないため休止しており、ダンスは対策をしながらなんとか続けている。でも気持ちが落ち込む、また筋力が落ちるとおっしゃっていた。また、子どもたちも体力の低下で怪我をしやすいと聞いている。やはり運動をすることが大切だと思う。
- (会長) 外に出られないことは、子どもたちには、ついついゲームばかりになりがちだったり、普段であれば散歩をしている高齢者も家にいたり、難しい状況であると思う。
- 医師会の方ではどうか、コロナの影響で運動がしにくい状況になっているなどはあるか。
- (委員) 子どもたちが、家の中の生活が多くなり、学校へ行かずにオンラインで授業を受けたりしている。人との接触が減ると活動が減る。コロナの対策としては、人との接触を減らすことが重要であるが、広い意味での心や体の健康は、人とのつながりで生まれることが大きい。現状では、コロナにかからないことが第一である。大きな意味での、心の健康や体力増進は、二の次にならざるを得ないのは仕方がない事であるが、家の中でも何かすることができればよい。組織的に学校でどう取り組むなど、検討できるとよい。
- (会長) 室内の運動量を増やしたり、人との接触がない運動が増えていく状況で、コロナが収束して、両方(室内での運動と、外で人と一緒にする運動)できたら実施率は上げられるかもしれない。チャンスととらえてやるしかない。

7 「体育施設のあり方」の検討状況について

- (会長) 事務局より説明をお願いしたい。
- (スポーツ振興課長より資料7、8について説明)
- (会長) 多様化するスポーツの中で、公共スポーツ施設の役割などについて、ご意見はあるか。
- 立川市内には様々な施設があるが、その中で稼働率の高いもの、低いもの、老朽化し改修が必要なものがある。次回、たたき台が提示されてからの方が意見が出やすいのではないかと。どこが改修が必要で、どこが稼働率が低いのか等見えるようになっていると話し合いがしやすい。次回意見を聞いていきたい。
- (委員) 練成館の利用率の課題はどうか。練成館は古く、建て替えるのか、大きく変更をするのか大きな議題になると思う。
- (会長) 練成館は改修が必要な段階にきている。また、もしかすると市民でも練成館そのものを知らない方もいるかもしれない。認知してもらうことや活用の仕方も含めて次回議論してもらいたい。

8 その他

- (スポーツ振興課長) 次回審議会は、「体育施設のあり方」のたたき台をお示しし、それに対して委員の皆様の意見をお伺いしたい。10、11月を予定している。日程が決まり次第連絡する。
- (会長) 審議会の中では、施設の稼働率を上げるための議論ができるとよい。第2次スポーツ推進計画が今回示されているが、2次の前提となった第1次の取組と成果はどうなっているかがわかるとよい。1次と同じ議論をしても意味がない。1次の成果と課題を明らかにし、次のステップがわかるよう事務局で準備をしてもらいたい。
- (スポーツ振興課長) 1次計画の成果と課題についてはまとめたものがあるので、次回それをお示しする。それに対して、2次の進捗についてご意見をいただきたい。

閉会

※東京都のスポーツ実施率について(令和3年7月27日事務局確認)

スポーツ・運動を実施した頻度「週に1日以上」実施の割合

平成30年 57.2%

平成28年 56.3%

平成26年 60.5%

【参照資料】「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」平成31年2月